

「再発防止の徹底を」

日遊協など、会員へ緊急要請

ホール駐車場での子どももの放置死亡事故が今年も起きてしまった。8月16日、三重県桑名市のパチンコ店の屋外駐車場で、車内に放置された生後5か月の男の子が熱中症とみられる症状で死亡した。パチンコ依存の問題とも関連して事態を重く見たホール関連団体は翌17日、会員・組合員に緊急文書を発し、再発防止のための周知徹底を要請した。

ホール駐車場での子どももの放置死亡事故が今年も起きてしまった。8月16日、三重県桑名市のパチンコ店の屋外駐車場で、車内に放置された生後5か月の男の子が熱中症とみられる症状で死亡した。パチンコ依存の問題とも関連して事態を重く見たホール関連団体は翌17日、会員・組合員に緊急文書を発し、再発防止のための周知徹底を要請した。

ホールの日常努力も今回また止められず

今回の事故を受けて日遊協は8月17日、「駐車場における児童車内放置事案の阻止強化のお願い」と題する文書を会員宛に発した。それによると、「車内放置の問題については、日遊協はじめパチンコ産業界全体で、その発生を防ぐために日常的な運動を展開し、効果を上げてきました。が、不幸な事件を食い止めることはできませんでした。今後、なんとしても同種の事件を起こさないために、さらに防止活動を徹底されるようお願い申し上げます」とし、①児童を同乗させた車両は駐車場入場を認めない ②

8月16日午後5時20分ごろ、桑名市大仲新田のパチンコ店駐車場で、同市に住む無職女性(45)の軽乗用車の後部座席ベビーシートで、女性の長男(5か月)がぐったりしているのが見つかり、市内の病院に搬送されたが死亡が確認された。死因は熱中症とみられる。女性はホールにいた約3時間、長男は車内に放置されていた。桑名署は女性を保護責任者遺棄致死容疑で逮

捕した。昨年7月にも、石川県輪島市のホール駐車場で当時1歳の女児が熱中症で亡くなるなど、同種の事故は5年連続で発生している。また、日遊協中部支部も同日、支部会員に向け、「広報啓発活動」「駐車場内のパトロール」「児童が同乗する車両の駐車場入場お断り」の3点の強化を要請した。子連れの駐車禁止をなによりも優先して

駐車場のパトロールを強化し点検作業を徹底する ③ホール内などでの広報を強化する——の3点の日常活動を徹底するように要請した。また、日遊協中部支部も同日、支部会員に向け、「広報啓発活動」「駐車場内のパトロール」「児童が同乗する車両の駐車場入場お断り」の3点の強化を要請した。子連れの駐車禁止をなによりも優先して

「駐車場等の確実な巡回確認と効果的な店内放送等を徹底するとともに、ホール業界が子供事故防止に積極的に取り組んでいることを来店客並びに地域住民の皆様へ強くアピールすることによって、子供事故防止に対する意識をより一層高めてほしい」と要請した。さらに留意点として、「何よりも大切なことは『お子様連れのお客様の駐車場そのものへの入場禁止』であることを肝に銘じてほしい」と強調した。

事故が起きたホールが加盟しているPCSAも同日、会員に向けて、お子様連れの入場お断りの旨を駐車場とホール入り口にはっきりと表示すること、店内放送で定期的に注意喚起を行なうこと、駐車場の定期的・実効的な巡回チェックを行なうこと、チラシ等での広告宣伝の際にお子様連れの来店をお断りする旨を一言必ず入れること——の「ホールにおける子供事故防止4箇条」の徹底を呼びかけた。とくに駐車場順回については、多頻度に、徹底して、スマートフォンガラス等の車両も懐中電灯を用いて確実に車内チェックするよう念を押した。



全日遊連ホームページから